

## シンポジウム

### 「女子中高生の皆さんへ 裁判官・検察官・弁護士の仕事や働き方ってどんなかな？」 の実施について（ご報告）

日本弁護士連合会男女共同参画推進本部 事務局次長

男女共同参画連携会議 議員（推薦団体：日弁連）

佐藤 倫子（さとう・みちこ）（香川県弁護士会）

#### 【1 企画趣旨】

- ・ 裁判官 24.0% (2,944 人中 706 人), 検察官 22.4% (1,896 人中 424 人), 弁護士 18.1% (36,415 人中 6,618 人) (弁護士白書 2015 年版)
- ・ 司法は社会の重要なインフラ 女性は社会に半分 法曹も半数が女性であるべき
- ・ 内閣府 第四次基本計画 2020 年「指導的地位に女性が占める割合を 30%程度とする」<sup>1</sup>
- ・ 日弁連 第二次基本計画 (2013 年策定)「弁護士を目指す女子学生・生徒の裾野を広げるべく、大学や高等学校をはじめとする教育機関や女子学生等に対し、女性弁護士に関する情報提供を行う方策を検討し、実施する。」
- ・ 司法試験合格者に占める女性割合は低下傾向<sup>2</sup> 裁判所・検察庁は計画的に採用 弁護士会の目標 (2020 年 30%) 達成はおおよそ不可能
- ・ 法曹を目指す女子学生の裾野を広げるべく 中高生に女性法曹の魅力を発信する
- ・ 保護者が法曹を目指すことを反対する傾向があるとの意見<sup>3</sup> 保護者もターゲットとする

#### 【2 実施概要】

- ・ 実施日時：2016 年 11 月 23 日 (祝) 午後 1 時～4 時
- ・ 実施場所：早稲田大学大隈記念講堂小講堂 (第 1 部、第 2 部、第 3 部②) 教室 (第 3 部①)
- ・ 主催団体：内閣府 男女共同参画連携会議 日本弁護士連合会 早稲田大学 日本女性法律家協会 (2016 年度 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業)
- ・ 参加人数：学生 (中高生) 119 人 一般 (保護者教員等) 57 人 関係者 (講師含む) 45 人 合計 221 人
- ・ 講師：弁護士 21 人 裁判官 3 人 検察官 3 人 合計 27 人 (全て女性)

#### 【3 実施内容】

- ・ **第一部 基調講演(30分)「女性法律家の魅力～そのやりがい語る～」**  
講師：大谷 美紀子 弁護士 (東京弁護士会 日弁連国際人権問題委員会委員長 2017 年 3

<sup>1</sup> 第 4 次内閣府男女共同参画推進基本計画は、「政策・方針決定過程へ女性の参画拡大」中、司法分野における施策の基本的方向として「司法分野について、法曹三者それぞれにおいて 30%目標に向けた取組を進める。」ことをあげ、法曹養成課程における具体的取組として「法曹となり得る人材のプールを拡大すべく」、「ロールモデルとなる女性法曹による教育等を通じ、法曹養成課程における女性法曹輩出のための取組を促進する」ことをあげている。

<sup>2</sup> 近年の司法試験合格者に占める女性割合は、2012 年 25.9%、2013 年 23.3%、2014 年 22.5%、2015 年 21.6%、2016 年 23.4%。なお、発表者が合格した 2000 年は 27.2%だった。

<sup>3</sup> 2013 年日弁連男女共同参画推進本部と法学部教員・学生との意見交換会

月より国連子どもの権利委員会委員就任予定)

**概要：**滋賀県大津市の県立高校に通っていた内気な少女が「人の役に立ちたい」「世界のために働きたい」と思い上智大学に進学、友人の出来事を契機に弁護士を目指し、留学経験を経て日本に住む外国人を助けたいと、渉外家事や国際人権を専門とする弁護士へと成長。国連の選挙で子どもの権利委員に。

**アンケートより：**

「内気だとおっしゃっていましたが、今とてもいきいき話しておられて、私も頑張ればあんな風に話せるようになるのかなと思いました。」(高校生) / 「私も人のために役に立ちたいとあっていて、この法費の仕事が更にかっこよくみえた。」(高校生) / 「弁護士の仕事のすばらしさを知った。今の世の中では英語が話せるだけではだめだと思った。」(中学生) / 「実際、この仕事をして、学ばれたことなどがたつぷりときけ、吸収することができて良かったです。」(中学生) / 「なぜ、どのようにして弁護士になったのか、詳しくきくことができてよかったと思う。海外での生活のことなど、具体例も交えて説明していただいたので、とてもわかりやすく、少し理解できた。特に『様々な意見が集まることで豊かな世界につながるという話が心に残った。』」(中学生) / 「はじめの大谷美紀子さんの社会で困っている人の役に立ちたいという意見に感動しました。自分の意見をはっきり言うのが苦手な人が弁護士の道へ進んで、よかったとあっていて、苦手を克服したとあっていて、努力したんだなと思いました。」(高校生) / 「自分も、人前で意見を言うことが得意な方ではない。そういう人でも、努力すれば弁護士になることができるんだなと、分かった。これからの参考にしたい。」(高校生) / 「私も国連や外交官に興味があるので、法律家から世界にも広げられるのだと知れて良かったです。」(中学生) / 「とても、大谷さんと私は性格が似ているなど勝手ながら共感してしまいましたが、少し私も内気で、思っていることを言えないといたりしていたけれど、そんな人でも、国連の人になれるのはすばらしいことだと思いました。憧れました。」(中学生) / 「ひっこみ思案気味の私でも、弁護士さんなどの仕事もできるかもしれないと考えられるようになりました。」(高校生) / 「どのような子ども時代を過ごして弁護士になったのかや、学生時代の話などを聞くことができたので、今の自分にとっても参考になりました。」(高校生) / 「人柄やモットーがよく伝わってきました。すごく素敵なお話でした。ありがとうございました。」(高校生)

・ **第二部 パネルディスカッション(50分)「女性法律家のさまざまな働き方」**

コーディネーター：石田京子准教授（早稲田大学法科大学院）、パネリスト：矢尾和子判事（東京地裁）、鈴木朋子検事（東京地検）、佐藤倫子弁護士（香川県弁護士会、本報告発表者）

**概要：**仕事の内容・その仕事について理由、仕事のやりがい、労働条件・プライベート、学生へのメッセージを、判事・検事・弁護士がそれぞれの視点からお話した。

**アンケートより：**

「滅多に裁判官、検察官、弁護士の方々のお話を聴くことができないので大変参考になりました」

た。お三方がとても活き活きと仕事の魅力について語っておられて、法曹にとっても興味がわきました (高校生) / 「法律家は自分が思っていたものより、女性も活やくできるものなんだと思えました」 (中学生) / 「検事を目指すなかで不安や心配事などがありましたが、それらが全て晴れて、今日参加できて本当に良かったと思えました。」 (中学生) / 「プライベートな話も聞けたり、イメージが変わったりしてうれしかった」 (高校生) / 「楽しい話をたくさん聞けた。今まで知らなかった弁護士の仕事や、検事、裁判官の仕事が聞けて、意外に思ったことや、興味を持てたことがたくさんあった。」 (中学生) / 「ネットで調べてもわからないような法律家さんの普段をきけてすごく面白かった」 (高校生) / 「それぞれ、立場は大きく違うけど、誰もが信念を持って仕事をされているのだと実感した。」今まではとても忙しそうで大変な仕事だと思っていたが、ゆうずうもきいて、子育てにも理解のある職場だと思った」 (中学生) / 「それぞれ法曹三者の女性が本当にかっこよく、まぶしく感じました」 (高校生) / 「三つの立場の人の意見が聴けて面白かったです。違いが明確に分かってよかったです。」 (高校生) / 「今までぼんやりとしか知らなかった法曹という仕事について知ることができた。本やインターネットでは知ることのできない生の声で話を聞いて面白かった」 (高校生) / 「忙しくてなかなか他のことができないというイメージがあったのですが、結婚や子育てを両立している方が多く安心しました」 (中学生) / 「私が職業人として聞いても、涙がでてきてしまった。情熱をもってお仕事されているところを伝えて下さってありがとうございました (保護者)」 / 「講師の方々の豊かな人間味にふれることが出来、保護者の私にとっても興味深くよい経験となった」 (保護者) / 「3人のお話を聞き法曹会のイメージが良い意味で変わりました。それぞれの方が生き生きとお話しされ、やりがいをもってお仕事をされていることが伝わってきた点がとても良かった」 (保護者)

・ **第三部 (1) (学生向け) グループディスカッション (2) (保護者教員向け) 説明会 (60分)**

- (1) 概要：会場を早稲田大学内教室に移し、各グループにつき2ないし3人の実務家が講師となって、学生(9人～14人)<sup>5</sup>と直接対話する。講師自身の経験について話をし、質問に答えるなどした。
- (2) 概要：裁判官(矢尾和子判事)、検察官(鈴木朋子検事)、弁護士(道あゆみ弁護士)、ロースクール教員(石田京子准教授)が登壇。法曹界の女性割合推移、法律家になるルート、司法修習とは何か、どのようにして三者分かれるのかななどを説明。会場からは、予備試験とロースクールどちらが良いのか、司法試験に受からなかった場合の進路はどう

<sup>4</sup> 刑事(2グループ。講師：①山口温子検事・和田恵弁護士、②浦岡修子検事・亀石倫子弁護士)、民事(2グループ。講師：①佐藤彩香判事・石田愛弁護士、②鹿田あゆみ判事補・葦名ゆき弁護士)、男女共同参画(講師：打越さく良弁護士・塩生朋子弁護士)、労働(講師：木下潮音弁護士・村越芳美弁護士)、国際(講師：大谷美紀子弁護士・石黒美幸弁護士・磯井美葉弁護士)、企業法務(金野志保弁護士・寺浦康子弁護士・鍛冶美奈登弁護士)、憲法・人権(講師：海渡双葉弁護士・近藤里沙弁護士)、医療・福祉(講師：大森夏織弁護士・寺町東子弁護士)の10グループ

<sup>5</sup> 刑事①：中学生6人高校生5人、刑事②：中学生6人高校生6人小学生2名(講師関係者)、民事①：中学生2人高校生8人、民事②：中学生3人高校生7人、男女共同参画：中学生7人高校生5人不明1人、労働：中学生4人高校生5人、国際：中学生7人高校生5人、企業法務：中学生2人高校生10人、憲法・人権：中学生9人高校生5人、医療・福祉：中学生7人高校生5人

なっているのかなどについて質問があった。

**アンケートより（グループディスカッション）：**

「直接質問などができ、とてもおもしろかった！」（中学生） / 「少人数のセッションだったので色々な質問ができて良かった」（高校生） / 「まじかで本物の検事さんや弁護士さんの話が聞けてよかった。」（中学生） / 「実際の仕事について詳しく知ることができ、進路の参考になりました。そして、弁護士という仕事に前向きに取り組んでいらっしゃる姿に感動しました。」（高校生） / 「もう少し長いともっとうれしかった。」（高校生） / 「少人数のため非常に質問がしやすいかったです。三人の方の意見を聞いて、いろんな視点を見れた気がしました。」（高校生） / 「夫婦別姓訴訟事件について興味を持った」（中学生） / 「自分の質問に対して先生が1つ1つ答えてくださって勉強になりました。様々なことに関心を広げてより深い知識を得たいと思いました」（中学生） / 「企業に就職するか、法律家の立場として企業に関わるか悩んでいたのですが、とても有意義だった。」（高校生） / 「紛争解決」のために、様々な対応を講じていらっしゃるんだ、と実感しました。貴重なお話ありがとうございました。」（高校生）

**【4 アンケート結果】**

（当職による暫定集計・学生のみ）

- ・ **第1部 基調講演** ..... (回答数 101人)
 

とても良かった 60% (61人)	良かった 37.6% (38人)
物足りなかった 1.9% (2人)	とても物足りなかった 0% (0人)
- ・ **第2部 パネルディスカッション** ..... (回答数 100人)
 

とても良かった 82% (82人)	良かった 18% (18人)
物足りなかった 0% (0人)	とても物足りなかった 0% (0人)
- ・ **第3部 グループセッション** ..... (回答数 101人)
 

とても良かった 75% (76人)	良かった 23% (24人)
物足りなかった 0.9% (1人)	とても物足りなかった 0% (0人)
- ・ **シンポジウム全体** ..... (回答数 102人)
 

とても良かった 75.4% (77人)	良かった 24.5% (25人)
物足りなかった 0% (0人)	とても物足りなかった 0% (0人)
- ・ **裁判官、検察官、弁護士へのイメージ** (回答数 101人)
 

変わった 87.1% (88人)	どちらでもない 7.9% (8人)	変わらない 4.9% (5人)
------------------	-------------------	-----------------

**【(イメージが) 変わった】**

「かたいお仕事というイメージ」 → 「先生方がそれぞれご自分のお仕事にやりがいを感じ楽しんでいらっしゃるのがよく分かりました。」（高校生） / 「堅苦しいイメージ」 → 「楽しそうで、とてもやりがいのあるお仕事だと思いました。」（中学生） / 「男性が多い職業 堅苦しい」 → 「女性が活躍していて、男性よりも関わりやすい部分もある」（高校生） / 「男の人が多い」 → 「女性だからできる見方もあるんだ」と思い、役に立てるのだと感じました」（高校生） / 「堅苦しい感じ」 → 「気さくな

感じてとてもすてきな方ばかりだった」 / 「かたいとか、忙しいとか」→やわらかくなった」（高校生） / 「厳しく、エリートでお堅いイメージでした」 / 「人間味豊かな方々で、イメージがからりと変わりました」（保護者） / 「堅苦しそうで厳しい世界が広がっているイメージ」→「自分が工夫して、その時その時に頑張ることができれば何だってできるという、ある意味前向きで楽しいというイメージになりました!」（中学生） / 「かたいイメージ。」→「とても良くなった。それぞれの仕事がかっこいいと思った。」（高校生） / 「女性が少ない、女性が働きづらい」→「女性が働きやすいようになっていると感じた」（中学生） / 「どれに対しても、やりがいはあるのだろうとは思っていたが、自由のきかない女性にはやりづらい職業だと思っていた。」→「かたいイメージを持っていたが、クリエイティブな仕事だと思った」（高校生） / 「弁護士は、生活に困ってしまいそうだから絶対になりたくないと思っていました」→「弁護士も普通に生きていけるのが分かりました」（高校生） / 「堅苦しいイメージ」→「話が面白い方ばかりで、自由に仕事ができることも分かりました」（中学生） / 「大変な仕事」→「世界が広がっていく、フレキシブルな仕事なんだなと思いました」（高校生）

#### 【(イメージが) 変わらない】

「自分には手の届かない存在だと思っていました」→「しかし元々法曹の仕事をなさっている女性の方にあこがれを持っていて、より一層『かっこいい』と思いました」（中学生）

#### 【どちらともいえない】

「狭き門を通りぬけてきた人」→「責任ある仕事だが、自分のやりたい事をしているから楽しめるのだと分かった」（高校生）

#### （全体その他の感想）

「本当に仕事をしている『生』の声が聞いてよかったです。思っていた以上に楽しそうだったり、やりがい、生きがいを感じているんだなあーと思いました。」（保護者） / 「法曹になりたいという思いが再認識できてよかったです」（高校生） / 「娘は小学生のころから検察官になりたいと強く思っておりましたが、現実的なことが見えてきた中3になり、試験の難しさ、将来女性としても（結婚出産）幸せがほしい…など悩み考える様になっておりました。今回生のお話が聞いてスッキリしていると思います。ありがとうございました」（保護者） / 「お仕事が忙しいなか、このような企画を運営して下さいましてありがとうございました。同じように次世代をもつ母として、また、職業人としてとても貴重な経験でした。不登校だった娘が参加したいと外出するぐらい素晴らしい企画でした。」（保護者） / 「本当に楽しかったです。貴重な体験をすることができました。ありがとうございました」（中学生） / 「女性の弁護士や検事のみなさんの話がきけて、率直に『おもしろかった』です。今まで以上に将来のことについて考えるきっかけになりました」（中学生） / 「実際に働いているからこそ、わかることが知れたのが、今回来て、一番良かったなと思いました」（高校生） / 「専門的職業について女性が色々学ぶことができてよかったです」（中学生） / 「女性としての立場から詳しいことを聞かせていただいて、本当に有意義な時間になりました。本当に素晴らしい時間になりました。ありがとうございました!」（中学生） / 「自分でもっと弁護士について調べたくなかったし、

海外でも弁護士という仕事をする事ができると知って、すごい嬉しかった」(高校生) / 「法曹という選択肢もよく考えて、女性として活やくできる仕事をみつけていきたいです。」(高校生) / 「進路について考えるにあたって、すごく貴重な機会でした。本当にありがとうございました。(高校生)

## 【5 広報】

- ・ 個別送付<sup>6</sup>：42校、1図書館
- ・ 一括送付<sup>7</sup>：795箇所（都内私立共学/女子中学校131校、都内私立共学高校112校、都内私立女子高校85校、都立高校176校、国立・都立中学校14校、国立高校2校、マスコミ43団体、23区図書館232館）
- ・ 特筆すべきものとして、十文字学園が独自の生徒向けチラシを作成して学内で希望者を募り、まとめて応募の上校長にて引率するという取組をしていた。ただし、個別依頼の結果ではない。

---

<sup>6</sup> 弁護士が自身の出身校や子どもの通う学校などに個別に連絡をして受け入れの了解を得、日弁連から個別にチラシ・ポスターを発送した。例えば当職は、出身校校長教頭にアポイントを取り、チラシ・ポスター送付の上、学校に出向いて趣旨説明、協力要請。また、本チーム会議で面識を得た渋谷教育学園渋谷の高際副校長に協力要請。各階にチラシを掲示してくださったとのこと。

<sup>7</sup> 日弁連作成リストに基づく、イベント受託業者による一括発送。各校あたりチラシ20部程度。マスコミはチラシ1部。図書館はチラシ5枚。ただし、入札業者決定に時間を要するため、チラシの一齐送付は10月下旬となってしまった。この点は課題と言える。スケジュールを見越してイベント時期を決定する必要がある。